

# 「IYP」ニュース

VOL.1 H27.7.26



## IYP始動！子ども議会を開催します！

IYPは、子どもの権利条約に位置付けられている“子どもの参加する権利”を保障するために、子どもの意見を表明する機会を提供して、まちづくりに子どもの視点を取り入れるためのプロジェクトチームです。

今年は、子どもたちが郷土（石狩）に愛着や誇りを持てる環境づくりや、このまちに住み続けたいと思うきっかけづくりを目的に“子ども議会”を開催予定です。子ども議会では、IYPメンバー（子ども議員）が「ふるさと石狩～これからも住み続けるために自分たちができること～」について検討した結果を石狩市長に提案・質問します！  
また、メンバーからの提案内容は中高生フェスティバル等で展示発表する予定です。

## 好きなラーメンの味は…？アイスブレイクで和やかに♪

市内各中学校・高校から集まった20名のメンバーはほとんどが初対面。自己紹介を兼ねたアイスブレイクを行いました！

緊張している・・・かと思いきや、開始直後から笑顔も見えて和やかムード♪自分以外の3人の名前を覚えることが目標でしたが、簡単だったかな？仲間探しゲームでは、血液型や兄弟の人数、好きなラーメンの味など、お題ごとに仲間を探し、いち早く打ち解けていました。



〇〇さんの隣の〇〇です。と自己紹介♪ ↑

## 議会ってどんなところ？

子ども議会を開催するにあたり、議会についてお話をしました。

### ★石狩市の議会ってどんなところ？

「石狩市を暮らしやすいまちにするにはどうすれば良いのか」を考えるとところです。石狩市民が選んだ代理人（＝議員）により話し合いが行われています。

議員の任期は4年で、25歳以上の石狩市民であれば議員に立候補できます。

### ★石狩市の議会の役割って？

石狩市の条例やお金の使い道を決めたり、お金が正しく使われたかどうかを調べます。また、石狩市にとって良いと思われることについて、国や北海道に意見を言います。

## 住み続けたい“ふるさと石狩”ってどんなまち？

事業テーマである「ふるさと石狩～これからも住み続けるために自分たちができること～」をもとに、「福祉」「教育」「暮らし」の3分野から希望をとり、グループに分かれて、話し合い（グループワーク）を行いました。

それぞれのグループで、どんなことを提案するかを話し合い、グループテーマを決めました。

グループ	テーマ
福祉	心地よい暮らしをするためのサービス
教育	教育の幅を広げる
暮らし	住み続けるためには



福祉

福祉グループでは、「ボランティア」や「ひとり親家庭」について考えました。

石狩市にはどのくらいのボランティア団体があるんだろう？どんなボランティアがあるんだろう？ひとり親家庭にはどんな支援がされているんだろう？…など、様々な疑問を書き出していました。

教育グループでは、「保育・教育施設」や「学校での国際交流」について考えました。

待機児童はいるのか、認定こども園はどんな施設なのか、市内の小中学校で国際交流（外国人との交流など）は行われているのか…など、自分たちにとって身近な“教育”の視点から考えていました。



教育

暮らし



9名のメンバーが希望した暮らしグループでは、「交通機関」や「公園・スポーツ施設」を「子どもたちが遊べる場所」と関連付けて考えていました。

石狩市にあったら良いと思う様々な施設について、自分たちの日常生活の様子なども踏まえて話し合いが進んでいました。

## 今回のまとめ

アイスブレイクを多く行ったことで、メンバーの緊張も解けて、とても賑やかなミーティングとなりました。

次回は、今回出された疑問等を解決しアイデアへと発展させるため、さらに話し合いを深め、市職員への聞き取り等を予定しています。

子ども議会の会場でもある議場も見学に行きます！